



# 宗四小だより



5月号

児童数 396名

志木市立宗岡第四小学校  
志木市上宗岡1-1-2  
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

平成29年5月1日発行

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども ○はたらく子ども ○じょうぶな子ども



## おもいやりは前向きな心遣い



校長 豊島 典子

新学期が始まり一か月が経ち、新しい学年、学級での生活に慣れてきたころです。

19日(水)には一年生を迎える会があり、体育館に初めて全校児童がそろいました。

それぞれの学年が、一年生の入学を喜び、学校生活を一年生に紹介しようと一生懸命発表していました。一年生は発表を真剣に見て、その瞳は輝いていました。



1年生はもとより、2年～6年生の保護者の方も、わが子がうまく学級になじんでいるか心配になるころでもあります。学校から帰ったら、今日の出来事を話しているでしょうか。

さて、今ほど人と人との関係の大切さを問われている時代はありません。特に「おもいやり」についてはいろいろな場面で話題になっています。では、「おもいやり」って何でしょうか。おもいやりとは一時の感情ではないと言えます。例えば、健康な人が病気の人を見て「かわいそうだ」という「同情」とは違います。「おもいやり」は、相手の苦しみや悲しみに共感することであり、その苦しみや悲しみを何とか解決してあげたいと思う気持ちが態度や行動に表れているものです。できること、できないことはありますが「何ができるかを考える」ことが大切ではないでしょうか。相手のペースで相手の言うとおりにするものでもありません。相手の立場に思いを寄せながら自分自身も主体的にかかわろうとする心遣いだと考えます。自然に何気なくできるのが望ましいのですが、自分の気持ちのどのことを押さえ、相手のどのことを受け入れて、お互いの気持ちが通じ合う相互の関係にまで作り上げていくことが大切です。こうした前向きな心遣いができて初めて「おもいやり」の気持ちが持てたといえると思います。自分も大切にしながら相手の気持ちを丸ごと受け入れていこうとする一人一人の意思を大切にしていきたいと思います。



親子で、家族で、地域で、今、この「おもいやり」の心を大切にすることが求められています。そのためには、一人一人がまず身の回りの人ときちんと向き合い、聞く、話すという会話をきちんとし、わかり合うことや理解し合うこと、そして相手

の立場を尊重し合うことから始めたいと思います。

